

病院・高齢者施設環境分科会

1. 目的

病院には、手術室、病理検査室、解剖室のような特殊用途の部屋があるほか、外来待合室、診察室、病室など多数の人が集まる空間も混在している。病院内の空気汚染問題は、その対象によって健常者である医療従事者や事務スタッフなどと、免疫力が低下している患者との 2 種類に分類することができる。海外の報告によれば、病院で働く医療従事者のツベルクリン反応の陽性率は、一般の人の 8 倍にもなる。また、院内感染の約 10% は真菌によるものと推定されている。また、近年病院内の患者が免疫力の低下に起因する日和見感染症や、多剤耐性菌などが問題となっている。

一方、一般的に高齢者は免疫力が低下しているため、日和見感染症にり患しやすい。したがって、高齢者が使用・利用する高齢者福祉施設内における空気汚染の実態を解明し、問題があればその対策を検討する必要がある。

本分科会は、以上のことを勘案し、医学、疫学、化学、建築学などを専門とする会員の連携の下に、本学会の中に病院および高齢者施設における感染症の問題を整理し、環境改善による感染症の対策を検討することを目的としている。

2. 活動計画

初年度分科会を 3 回程度開催し、下記に示す検討を行う。

- 1 回目：病院環境の現状について、既存文献を整理し、情報を共有する。
- 2 日目：高齢者施設環境の現状について、既存文献を整理し、情報を共有する。
- 3 回目：本年度の研究成果をまとめ、次年度の大会でポスター発表の準備を行う。

3. 分科会 代表者：柳 宇（工学院大学）